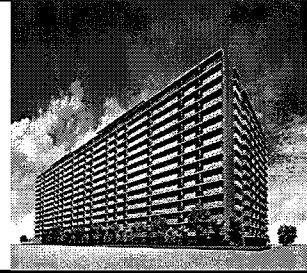


# CASBEE® 新築[簡易版]

# 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 使用評価ソフト: CASBEE-NCb\_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)向日市寺戸町計画 新築工	階数	地上15F
建設地	京都府向日市寺戸町寺田50番1	構造	RC造
用途地域	近隣商業地域	平均居住人員	0人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2017年3月 予定	評価の実施日	2015年3月23日
敷地面積	12,464 m <sup>2</sup>	作成者	美濃部
建築面積	5,624 m <sup>2</sup>	確認日	2016年12月13日
延床面積	42,434 m <sup>2</sup>	確認者	中條



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 1.2**

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算  
①参照値 100%  
②建築物の取組み 73%  
③上記+②以外の 73%  
④上記+ 73%

(kg-CO<sub>2</sub>/年・m<sup>2</sup>)

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Qのスコア = 3.0**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.8

#### Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.0

**LRのスコア = 3.3**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.5

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
豊かな緑地を確保し、周辺環境に考慮した豊かな住空間を創造する。		0
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
F★★★★の材料を採用し、シックハウス対策に配慮した。	潜熱回収型のガス瞬間給湯器を使用	道路沿いに緑地を敷き、周辺地域への良好な住環境の形成に配慮した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
屋上の仕上げをシルバーコート吹付けとし、太陽光の蓄熱抑制に配慮した。	住戸内収納のユニット化を行い、廃材発生を抑制を行う。	ゴミ置き場を設置し、廃棄物処理負荷抑制に配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される